

FoodLog

報道関係者各位

2010年4月30日

東京大学 大学院情報学環

食事日記を簡単に生成&共有できる Web サイト

「FoodLog (<http://www.foodlog.jp/>)」 4月30日に正式オープン

東京大学 大学院情報学環相澤研究室（以下、東京大学 相澤研究室）とfoo.log（フードットログ）株式会社は、利用者がWebサイトにアップロードした写真から「食」に関する画像を抽出し、食事カレンダーを生成する「FoodLog (<http://www.foodlog.jp/>)」サービスを4月30日より正式運用します。

「FoodLog」とは、利用者がWebサイトにアップロードした写真の中から、食事画像を抽出し、食事カレンダーを生成することができるシステムです。抽出した写真は、月や週のカレンダーにサムネイル画像が表示されます。また、写真に映された特徴から、主食、主菜副菜といったカテゴリの食事バランスの情報を抽出し提示できます。今後は、カロリー計算補助機能や、位置情報、時間情報等の表示モードの拡充を予定。毎日の食事記録による健康管理や食事情報の交換、食事アルバムを用いた新たなコミュニケーションの実現を目指しています。

FoodLogは、独立行政法人 科学技術振興機構の戦略的創造研究事業 CRESTの「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」研究領域における研究課題「“食”に関わるライフログ共有技術基盤」（研究代表者：相澤清晴東京大学大学院情報学環 教授）の成果展開であり、今後は、画像処理技術を用いた様々なライフログ情報共有サービスへの利用が期待できます。

「FoodLog」のWebサービスを運営していくにあたり、これまで相澤研究室と協働してきた株式会社D-SIDE (<http://d-side.co.jp>) が、社名・事業内容・体制を変更し、FoodLogの運用、サービス開発を行う会社「foo.log株式会社（以下、foo.log）」として事業を開始しました。今後も、東京大学と協働してFoodLogの研究開発を進め、広く社会に役立つように、魅力あるサービスを提供できるよう邁進していきます。

なお、foo.log 株式会社の概要は以下のとおりです。

商 号	foo.log 株式会社（英名 foo.log Inc.）
事業内容	FoodLog サービスの開発・運営
代 表	代表取締役社長 小川 誠
登 記 日	2010年4月7日
資 本 金	2,400万円
所 在 地	東京都足立区千住 1-4-1 東京芸術センター1502

本リリースに関するお問い合わせ

foo.log 株式会社

<http://www.foodlog.jp/> info@foo-log.co.jp

TEL: 03-5284-9047

東京大学 相澤研究室 広報担当：上條桂子

TEL: 03-5841-6651/6761

FoodLog

■FoodLog とは……

食事の写真を撮ってアップロードするだけで、自分の食事日記が作れる、オンラインの食事日記システムです。

操作手順

- (1) FoodLog (<http://www.foodlog.jp/>) のアカウントを作成
- (2) 毎日の写真を撮影して、アカウント作成時に作成されたメールアドレスに携帯メールを送信するだけで、カレンダーが更新されていきます。

【FoodLog の仕組みと機能について】



サイトにアップされたさまざまな写真の中から、食事まつわる写真を画像認識で抽出します。



食事バランスガイドに基づく、主食・副菜・野菜・果物・乳製品の5つの項目がどれだけ画像内に含まれているかを推定します。(手動で変更可能)



「みんなの食事」画面では、他のユーザが投稿した食事画像を閲覧可能。同じ日に他の人が何を食べているのか、記念日の食事等が見られることで、レシピの幅が広がったり、健康情報の交換をしたり、新しいコミュニケーションが生まれることでしょう。

※参照画像は開発中のものです。

本リリースに関するお問い合わせ

foo.log 株式会社
<http://www.foodlog.jp/> info@foo-log.co.jp
TEL: 03-5284-9047

東京大学 相澤研究室 広報担当: 上條桂子
TEL: 03-5841-6651/6761

FoodLog

■ 「食」に関わるライフログ共有技術基盤」とは……

「食」に関わるライフログ共有技術基盤(研究代表者: 相澤清晴東京大学大学院情報学環 教授)は、独立行政法人 科学技術振興機構の戦略的創造研究事業 CREST の「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」研究領域に採択(平成 21 年 10 月~27 年 3 月)された研究提案です。本研究では、これまで情報処理の対象として扱われることの少なかった「食」に注目したライフログ技術基盤の研究開発を行います。画像などを用いた食事メディア処理、処理の可視化・健康支援インターフェース、潜在的コミュニティの発見や場の雰囲気記録・再生などの実空間コミュニケーション、ライフログの標準データ形式やプライバシー制御などの共通技術基盤などについて研究開発を行うとともに、健康管理の実証実験も行います。研究参加者は、東京大学の相澤・山崎研究室、廣瀬・谷川研究室、KDDI 研究所野原グループ、そして foo.log 株式会社が加わる予定です。

■ プロジェクトメンバー

相澤・山崎研究室 <http://www.hal.t.u-tokyo.ac.jp/>

映像処理とマルチメディア応用に関して研究を進めている。ライフログ(人の体験記録)の取得と処理、応用に関する研究、実写3次元映像のための処理の研究、広域サーベイランスなどの研究を行っている。特に、ライフログ研究の一環として、食事に対象をしばった FoodLog を推進している。

廣瀬・谷川研究室 <http://www.cyber.t.u-tokyo.ac.jp/>

バーチャルリアリティー技術、ヒューマンインタフェースを端緒として、人間と機械の関係に関する研究を、様々な角度から実施している。高品位なバーチャルリアリティー環境や空間共有システム、ウェアラブルコンピュータなどを用いたライフログ、複合現実感、多量情報の可視化、触覚インタフェース・嗅覚インタフェースをはじめとする五感を対象としたマルチモーダルインタフェースなどの研究に従事している。

KDDI 研究所 野原グループ

KDDI 研究所 野原グループでは、食ログを健康増進に役立てるため、携帯電話で日々の健康情報を記録、TV 電話で健康指導する健康指導基盤の構築、高度化を、また膨大なデータ量となるライフログを効率よく管理、活用するためのライフログオントロジの設計を行っている。

foo.log 株式会社 小川グループ

foo.log 株式会社 小川グループでは、相澤研究室と連携し、FoodLog システムをクラウドコンピューティング基盤の上に再構築し、大規模データ収集を可能とする仕組みづくり、魅力的なサービスの創出を行っている。

本リリースに関するお問い合わせ

foo.log 株式会社

<http://www.foodlog.jp/> info@foo-log.co.jp

TEL: 03-5284-9047

東京大学 相澤研究室 広報担当: 上條桂子

TEL: 03-5841-6651/6761